



1学年 学年だより



特別号

前日までの雨が嘘のようなよいお天気のお5月28日(金)。毎朝早い時間に全員がそろう1Aの教室は、何か楽しいことが始まるぞ！という子どもたちの熱気でいっぱいでした。毎朝の健康チェックを済ませ、外に出での出発式。矢野校長先生から、「普段とは違う環境で、全身を使って大切なことを学んでください」というありがたいお言葉をいただきました。

まもなくバスが出発。運転手さんに、「おはようございます！お願いします！」と大きな声で言うことができました。当たり前前のことを当たり前。これが今月の学級目標です。車中では、前を向いて、静かに過ごすことができました。すると、後ろから聞こえてきた質問・・・「先生！河童は海におるんですか〜？」なんてよい質問なんだ！と思わず河童についての授業を始めそうになりましたが、三密ではなく一密も避けたい環境です。ぐっところらえて「また今度ね・・・」バスはどンドン山を上り、これ以上進めない場所からは、荷物を持って徒歩で山を下りました。周囲には、豊かなパリエーションの緑色、そして理科の授業で学んだシダ植物が茂り、子どもたちは興味津々の様子でした。15分ほど下ると、出迎える音楽が聴こえてきました。海が見えた瞬間・・・「わー！」という歓喜の声が。期待を裏切らない反応です！

入所式を終え、さっそく着替えてカナディアンカヌーの活動へ。スタッフの方から、目標を提示されました。①最初と最後のカヌーの時間差がないほどよい。②自分たちで話し合うこと。の2点です。往路は結局男女別々でのスタートとなりました。4人乗りのカヌーは、めいめいに無人島を目指します。途中、先頭を走っていたカヌーにトビウオが飛び込むハプニングが起こり、大注目を集めました。スタッフの方も、とても珍しいと驚いた様子でした。

無人島の野々島では、漂着したゴミを拾い、自然に帰るまでにどのくらい時間がかかるかという環境問題について学びました。たった10分で集めたゴミの種類が多さに、一同驚愕！でした。帰途は男女混合チームで。どのチームも息の合った動きで、賑やかな声が響いていました。



無人島から戻り、今度は一人乗りのカヤックに挑戦しました。誰もが、はじめは恐る恐る乗っていましたが、一度海に落ちると、そのあとは落ちることを楽しんでいました。中には、カヤックの上に立つ上級者まで現れました・・・すごい！！たっぷり動いた後は、お昼ご飯に美味しい牛丼をいただきました。そして午後は、カードやオールを使ったレクリエーションをして、クラス一丸となって楽しめました。帰りのバスは・・・ご想像におまかせします。一日を通して、本当にかけがえのない課外活動になりました。そして、これからもいろいろな経験を積んでほしいと思いました。



～ 生活記録の感想より ～

☆カヤックが思っていたより不安定で、めちゃくちゃ怖かったけど、だんだんと慣れていってとても楽しかったです。☆どれも楽しかったけど、特に思い出に残っているのは、カヌーで速く進んでいたら、トビウオがカヌーの中に飛んできたことです。びっくりしました！

☆カナディアンカヌーはなかなか進まなかったけれど、みんなで協力して楽しみながらできたのでよかったです。

☆無人島で、たくさんの種類のたくさんのゴミを見て、とてもびっくりしました。

ビニール袋が自然に還るまで、約400年もかかると聞いて、さらに驚きました。

☆(一人用の)カヤックの上で立っている人がいて、すごいなあと思いました。



いえーい！！
カヤックに立つことが
できたよ！



YMCA 阿南国際海洋センター

↓ 無人島の野々島

